

1/22 18:30-20:30 職場自治活動の進め方

活動基本

グループワーク

■ 概要

労働組合として、自分たちの職場を自分たちで良くする取り組みの意義と方法について学びます。

「職場自治」の本質的な目的は、職場の組合員自らが働きやすい職場を描き、職場の仲間と協働し、仕事へのモチベーションを高め、自分たちの職場や会社に対する満足度を高めることだといえます。また、取り組みを進める上では、組合員による現場発案型の活動ができるかどうか重要なポイントになります。

「職場の課題を中央執行部に言えば、誰かが解決してくれる」「会社が解決してくれる」という他人任せでなく、自分たちの職場を組合員全員で課題解決に取り組むことと、「職場のリーダーとしてのありかた」について、講師が体験した取り組み事例を紹介し、より具体的な視点で解説いたします。

■ カリキュラム

1. 職場自治活動とは
2. 職場リーダーの役割と重要性
3. 職場課題解決を成功に導く職場の声と活用
4. 活動宣言

■ ポイント

- 組合員を組合活動に巻き込み一緒に活動していきながら、労働組合の価値向上につなげることで、組合活動の関与度を上げる取り組みが理解できる。
- 働きやすい職場を創るには、「優れた制度」だけでなく「職場発案型の課題解決」が必要であることを、他労組事例やワークショップを通じて理解できる。
- 職場でのリーダーの役割と重要性を理解し、自分たちで良い職場をつくる風土を醸成する。



藤村 英司

【プロフィール】

j.union株式会社専属講師
1978年 広島県出身大学卒業後、広告代理店に入社。
販売促進・イベント・コンサルティング業務等を経験後、
j.union株式会社に入社。現在は広島支店に勤務し、中国・四国地方を中心に、日々の組合活動の支援に携わっている。組合主導で行う職場風土改革や職場発案型の課題解決など、職場の声を大切に、「働く人」と「職場」を良くしていくことをモットーに取り組んでいる。